

学級：2年1組 授業者：田中 健三郎

主題名 あいてのことを思って【親切、思いやり】

教材名 「ぐみの木と小鳥」

お話のあらすじ

ぐみの木は姿を見せないリスを心配し、小鳥に実を届けてもらいます。実を届けてもらった病気のリスは喜び、その後小鳥は嵐の日も必死で訪ねます。回復したリスは感謝し、ぐみの木も親切を忘れないと伝えます。やがて小鳥は別れを告げて飛び去ります。

授業で大切にしたいこと

小鳥が、嵐になってもぐみの実を届けに行き、りすに感謝される場面を役割演技し、親切にしてもらった側、親切にする側双方の心情を捉えられるようにします。今日の学習を通して、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさを実感し、進んで親切にしようとする気持ちを育てていきます。

ご家庭で話し合っていたいただきたいこと

友達から親切にされたことや自分が親切にできたことなどについて、話し合ってもらいたいです。保護者の方からも、ご自身が「誰かに優しさをもらって心に残っていること」や、「ちょっとした親切が誰かの支えになった経験」などを話していただければと思います。